

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

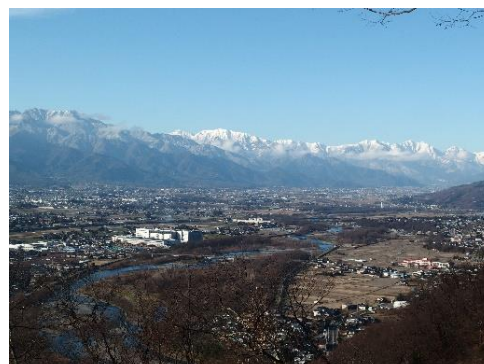
事業名	平瀬城跡の整備・保存活動事業
事業主体 (連絡先)	平瀬城跡一口城主会 (0263-35-2553)
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,024,439円 (うち支援金: 664,000円)

### 事業内容

平瀬城跡は、平成26年3月5日に松本市の「特別史跡」に指定されました。整備・保存活動のため平瀬城跡一口城主会を立ち上げ、活動を開始しました。

現在まで、・登山道の整備・曲輪の雑木伐採、草刈・本城頂上の雑木伐採、草刈などを実施しましたが、28年度は、

- ・登山道に架かる老朽化した木橋の架け替え事業
- ・平瀬城跡のシンボルであった枯一本松の枝切、保存事業
- ・本城頂上周囲の支障木の伐採事業
- ・歴史講座の開催(平成28年11月15日、参加者56名)などを実施しました。



【本城頂上からの眺望】

### 事業効果

- ①支援金を活用して、素人では危険が伴い対応が難しい木橋の架け替え、枯一本松の枝切、城周囲の支障木の伐採により眺望が拡大するとともに、城跡がだんだんと現れてきました。
- ②一口城主会の城主(会員)は、80名を超え、賛同・支援の輪が広がっています。
- ③11月の歴史講座は予定の参加者数を大幅に超える盛会となり、参加者56名中17名が一口城主でした。
- ④一口城主による整備・保存活動は6月と9月の2回実施しました。
- ⑤城主入口の城跡案内板の横に「資料箱」を8月に設置したところ、現在までに「54セット」の資料が持ち帰られ、来城者はそれを上回る人数がいると推定されます。

### 【目標・ねらい】

- ①本城頂上の支障木の伐採拡大
- ②本城頂上の枯赤松の伐採、玉切
- ③城跡入口、城跡駐車場所の案内看板の設置、城跡のPR

### 自己評価【 A 】

#### 【理由】

- ・平瀬城跡の歴史的価値が見直され、高まっている。
- ・観光スポットとして、宣伝活動を強化できる。

### 今後の取り組み

- ①城跡の案内看板、駐車場案内看板の設置により、城跡のPR拡大、来城者への便宜を図ります。
- ②本城頂上の支障木の伐採拡大、枯赤松の伐採・玉切りにより城跡の整備をさらに進めます。
- ③南支城に登るための、木橋の設置、登山道の整備をします。
- ④南支城の支障木の伐採、枯赤松の伐採による整備を拡大します。
- ⑤平瀬城跡は「松本市の史跡」ですが、同じ小笠原城郭群の林城跡、山家城跡、桐原城跡、埴原城跡、井川城跡は「県の史跡」に指定されており、うち林城跡と井川城は29年度に「国の史跡」に指定されると聞いております。
- ⑥平瀬城跡を早期に「県の史跡」に指定されるべく活動を強化、活性化してまいります。